

北部ダム統合管理事務所
大保ダム管理支所

TEL 0980-44-2442 FAX 0980-44-2328
http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/
※ダム管理及び広報誌に対する、ご意見・ご要望は、以上の連絡先までお願いします。

ぶながや湖だより

皆さん、はじめまして、【ちゃあがんじゅうやみせーんなあー。】
(いつも元気でいらっしゃいますか? :目上の人に対する敬語)
長寿の里、芭蕉布の里、シークワサーの里、ぶながやの里、大宜味村へようこそ!

私は、この4月に大保ダム管理支所長で着任しました濱川義秋です。皆さんご存知のように大保ダムは試験湛水(ダムの完成後、実際に供用するまでに行う試験。)を終えて完成し、今年4月から当ダムより県企業局の浄水場を経由して中南部地域へ水の供給を行っております。



大保ダム庁舎の名前も建設時の北部ダム事務所 大保出張所から北部ダム統合管理事務所 大保ダム管理支所へと変わり看板も変更しております。看板の記名を快く引き受けて下さいました大宜味村前教育長 平良宏様、この場をお借りしましてお礼を申し上げます、ありがとうございました。

それから、大保ダム管理支所では今後広報誌を出すことになりました。今回が第1回目で名前を【ぶながや湖だより】としました。【ぶながや】は、「平和と自然を愛し、森や川の恵みを巧みに利用し、時折私たちにその姿を見せてくれる不思議な生き物。」と言われていています。ぶながやからの便りと言うことで、大保ダム周辺での話題イベントあるいは防災情報等を発信しようと思っています。大宜味村を初め地域の方々との関係を図りながら地域の活性化、さらには元気ができるように最終的には雇用が生みだせれば最高ですけど!少しでも地域の力になれるよう関係者の支援を得ながら職員一同頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

北部ダム統合管理事務所 大保ダム管理支所長 濱川 義秋

○今月(10月)の行事予定について

当事務所の今月の予定は、次の表のとおりです。

日(曜日)	担当	行事名称	内容
3(月)	管理課	大保ダム水源地域ビジョン推進協議会	当ビジョンの進捗状況の確認等を行う会議
7(金)	広域水管理課	リュウキュウアユ復元に向けての拡大会議	リュウキュウアユの陸封化等に関する会議
8(土)、9(日)	防災専門官	やんばる産業まつり	北部地区の特産品や魅力を紹介するまつり
中旬	管理課	各管理ダム(8ダム)の施設調査	管理を適切に行うために各施設の調査を行う
21(水)	羽地	羽地ダム環境ネットワーク協議会	羽地ダム周辺の不法投棄の防止に関する会議
23(日)	大保	大保ダムまつり	水の大切さを広く知ってもらうためのまつり
28(金)	広域水管理課	水質調査業務中間報告会	各ダムの水質状況を有識者に報告し、指導・助言を受ける



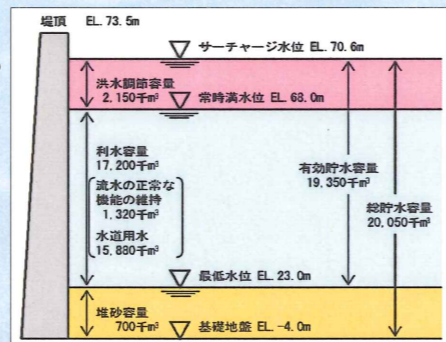
大保ダムは、昭和62年5月に調査を開始し、管理ダムへと移行する平成23年4月まで約23年の歳月を経て完成しました。これまで地元行政や地域住民のご協力の下、たくさんの技術者や関係者が従事・尽力され、県内第2位の水がめとなる大保ダムが完成の運びとなりました。



項目	本ダム	脇ダム
位置	沖縄県国頭郡大宜味村字田港地先	
型式	重力式 コンクリートダム	ロックフィルダム
堤高	77.5m	66.0m
堤頂長	363.3m	445.0m
堤頂標高	EL 73.5m	
堤体積	400,000m ³	1,930,000m ³
集水面積	13.3km ²	
湛水面積	0.89km ²	
総貯水容量	20,050,000m ³	
有効貯水容量	19,350,000m ³	

大保ダムは、沖縄北西部河川総合開発事業の一環として、大保川水系大保川の大保大橋より上流約2.9kmの地点に建設されたダムで、洪水調節、水道用水の開発、下流河川の適正な流量確保を目的とする多目的ダムです。重力式コンクリートダム型式の本ダムとロックフィルダム型式の脇ダム、2つの型式のダムが近接して存在する大保ダムは、全国的にも珍しいダム(漢那ダムも同様)です。

- 洪水調節:** 河川の流域に降った雨を一旦ダムに貯め、下流に被害を生じさせないよう徐々に水を下流に流し、ダム下流地域を水害から守ります。
- 水道用水の開発:** 河川の流量が多いときに、流水をダムに貯めて徐々に流すことにより、生活用水に必要な水を開発します。
(大保ダム自流分(40,900m³/日)+8河川導水分(53,900m³/日)=合計(94,800m³/日)約18万9000人分の日当たり水需要量に相当)
- 下流河川の適正な流量確保:** 河川の水が少ないときには、ダムに貯めた水を河川に放流し、河川を保全します。また、今まで河川の水を利用してきた人々に安定的に水を供給します。



ダムの管理庁舎では、ダムの水を安全に放流したり、水を貯留したりするために、常に異常がないかコンピュータの監視・管理を24時間体制で行っています。



大保ダムでは、企業局へ送水する水を使って水力発電を行っています。発電した電気は、大保ダム施設の電力として使用するほか、余剰電力を売電します。



ダムの管理では、ダム湖の周辺に異常がないか定期的に船を使って巡視を行っています。艇庫は、船を保管する施設です。



ぶながや館では、ダムや大宜味村の自然・文化のパネル展示のほか、ノグチゲラの人工営巣木や貴重植物の実物展示も行っています。また、津波などの災害時には、地域防災センターとして活用されます。



学習の川は、やんばるの川を再現し、川での生物観察や川遊びが体験できる施設です。



多目的広場は、一般の方が自由に利用できる芝生広場です。団体のイベント等で使う場合は、管理支所にて使用申請が必要となります。

第2回大保ダムまつりを開催します!

- **開催日時:** 平成23年10月23日(日)9:00~17:30
- **会場:** 大保ダム(大宜味村田港1357-18)
- **イベント内容:** グラウンドゴルフ大会、オープニングセレモニー、芸能ステージ、エコクイズ大会、体験コーナー、ダム湖ハーリー大会、記念植樹、川遊び、苗木無料配布、監査廊見学会など
- **主催:** 大保ダムまつり実行委員会



昨年からはじまった大保ダムまつりですが、今年は体験コーナーが充実、多くの皆様のご来場をお待ちしております!!

まるごと自然体験

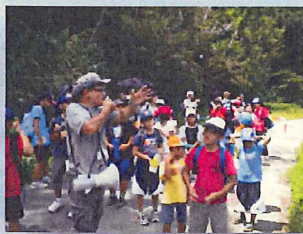
主催: NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会

～水と森と生き物達とあ・そ・ほ～

平成23年7月31日(日)



7月31日に、大保ダム下流の大保川で「まるごと自然体験～水と森と生き物達とあ・そ・ほ」が開催されました。村内・村外の親子40名が参加し、沖縄の昆虫博士下地幸夫さんを講師に迎えて大宜味の自然、自然の大切さ、大保ダムの役割・環境を学びました。参加者はまず初めに大保ダムの資料館「ぶながや館」で大保ダムについてのDVDを鑑賞し、ダムと水の大切さについて学習。学習場所をダム下流に移し、下地さんからクワガタが好む木を教えてもらったり、道路側溝を小動物が這い上がれるように斜めに作られている優しい設計になっていると説明を受けた。参加者は昼食を挟み、砂防ダムを切り下げた魚道に場所を移し、お待ちかねの水の生き物学習!!を体験。絶滅危惧種になっている沖縄特有のアオバラヨシノボリ(ハゼ科)や、はさみが平たくなっているヒラテテナガエビ(テナガエビ科)、ヤマトヌマエビ(ヌマエビ科)オニヌマエビ(同)等を捕まえ観察しました。(もちろんその後はきちんと川へ返しましたよ!)



NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会

tel 0980-44-1960 Fax 0980-44-1961

email oogimi.marugoto@kugani.jp HP <http://www.ogimi-tourism.com>

ハイビスカスの植樹できます

大保ダム視察記念に“ハイビスカスの記念植樹”はいかがでしょうか?!もちろん無料です!!ご希望の方は、大保ダム管理支所1階にある大保ダム資料館「ぶながや館」受付にてお申し込み下さい。

そして、またご自分の植樹したハイビスカスの様子を見に来てくださいね。

